（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	通所支援事業所YELL

公表日　令和8年　2月　26日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		必要なスペースが十分に確保できる人数のみ受け入れている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		児の状態等に応じて基準以上の人数を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		事業所に段差は無く、トイレには手すりを設置している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃を行い、空気清浄機も各部屋に設置している。活動にあわせてフロアの什器の配置も変更している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別に機能訓練を行う際や体調不良の際は個室を使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		目標設定や振り返り等には多くの職員が関与し、積極的に意見を出せるよう取り組んでいる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者のアンケート結果は事業所内に貼り出して職員への周知に努め、改善策も話し合っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日ミーティングの場を設け、意見等を収集し、業務改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在、外部評価は行えていない。今後、検討したい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に法人内での勉強会を実施している他、勤務時間内での外部研修への参加や研修費の補助を行い参加を促している。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページ、SNS上で公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		半年に1度は事業所内で保護者との面談を行いニーズを聴取し、それに基づいて計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援計画作成の際は職員全体で検討会議を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		プログラムの立案は会議を開いて行い、評価はミーティングにて都度行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動内容は日々変更しながら様々な経験ができるよう努めている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		業務日誌および経過記録を毎日記入し、日々の記録をもとにケース会議等で支援の検証につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		本人の気持ち、思いをくみ取りながら、それが表現できる環境になるように各児に対して1対1で関われるよう職員を配置している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じ医療機関や教育機関に出向き、情報共有等に努めている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者を通じて予定の確認等を行っている。必要な場合は電話や学校迎え時に直接伝え合い解決している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		就学のタイミングでの契約児童がいないので就学前の事業所等と関わることがなかった。今後あればコンタクトが取れるようにする。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域の児童クラブと連絡を取り合い、合同で活動できる日を設けている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			開催時間が支援中にあることが多く、毎回の参加はできていないためシフトを調整し可能な限り参加できるよう努めていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		事業所での取り組みを伝え、助言することはあるが、全員に対して家族支援プログラムとしての研修等は行えていない。
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約時や個別支援計画更新時には必ず本人、保護者の意思を確認し、それに沿った支援が提供できるように計画作成に努めている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○			保護者会は今年度2回開催できたが、全員に参加していただくことは難しい。父母の会の活動支援やきょうだい同士の交流は求めがあれば行いたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月お便りを発行して行事予定や活動報告を伝えるようにし、活動内容はSNSに掲載するようにしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		全職員に個人情報の取り扱いに関しての誓約書を取っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域住民を招待する等の活動は行えていない。必要であれば検討したい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルは策定し、定期的に訓練や勉強会を行っている。面談時には保護者に説明するようにしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し避難訓練等を定期的に実施している。	保護者を巻き込んでの大きな訓練は実施できていない。今後検討していきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		事前に保護者から状況や主治医の指示を看護師を中心に必ず確認し、緊急時は適切な対処ができるように準備をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		事前に保護者や主治医の指示を確認し、緊急マニュアルや計画書への記載を行っている。必要な場合は指示書に基づき投薬も行う。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットのファイルを作成し、全職員が常に閲覧できるように配置している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置し、事業所内で虐待防止研修を定期的に実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			